

第49卷 第10号

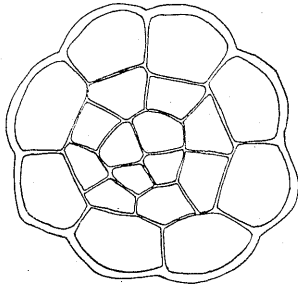
(通卷第560号)

Vol. 49 No. 10

植物研究雜誌

THE JOURNAL OF JAPANESE BOTANY

昭和49年10月 October 1974



津村研究所

Tsumura Laboratory

TOKYO

昭和四十九年十月二十六日印刷、昭和四十九年十月二十日発行
第三種郵便物認可
(毎月二十日発行)

目 次

大島海一： 緑藻クンショウモ属一種の休眠胞子の形態と発芽…………… 289
 本郷次雄： 日本産きのこ類の研究 (21) …………… 294
 前川文夫： 西表島のジョウロウラン…………… 307
 田中 肇： イネ科野生種の受粉 (1)…………… 309
 L.L. ナラヤナ： ツリフネソウ科の花部解剖学的研究…………… 315

雑 録

西田 誠： 北海道第四紀産ツガ材…305——山崎 敬： *Scrophularia mandshurica* Maxim. と *S. koraiensis* Nakai について…306——佐竹義輔： ホシクサ属の1新植物について…313
 正 誤…308

Contents

Kaiichi OOSHIMA: The morphology and germination of resting spores of *Pediastrum simplex* (Chlorophyceae) …………… 289
 Tsuguo HONGO: Notes on Japanese larger fungi (21)…………… 294
 Fumio MAEKAWA: A species of *Disperis* from Iriomote Is.…………… 307
 Hajime TANAKA: Pollination of some Gramineae (1) …………… 309
 L.L. NARAYANA: A contribution to the floral anatomy of Balsaminaceae 315
 Miscellaneous

Makoto NISHIDA: Occurrence of *Tsuga* sp. from the Pleistocene of Hokkaido. …305——Takasi YAMAZAKI: On *Scrophularia mandshurica* Maxim. and *S. koraiensis* Nakai. …306——Yoshisuke SATAKE: A new taxon of *Eriocaulon*. …313

Errata…308

[表紙カットの説明] タカサゴソコマメゴケ *Jackiella javanica* Schiff. の胞子体の柄の断面。4-8-8の構造を示す。苔類の胞子体構造には4という数か基本になっていて、ほとんどがこの倍数である。(発達途中でずれることもある) 蘚類についても同じことがいえる。配偶体では3という数が基本になっている場合が多いのといちじるしく異なる。(井上 浩)

[Explanation of the cut on the cover] Cross section of seta of *Jackiella javanica* Schiffn. (Hepaticae), with 4-8-8 structure. (Hiroshi INOUE)

投 稿 規 定

1. 論文の投稿者は原則として本誌1年以上の購読者であること。
2. 文章は簡潔に書くこと。
3. 論文の脚注に著者の勤務先(勤務されていない場合は住所)とその欧文訳を付記すること。また、継続論文は脚注に前報掲載の誌名、巻数、頁、年号を入れること。
4. 本論文と雑録の著者名にはローマ字綴り、題名は欧和両文で付けること。
5. 和文原稿は平がな交り、横書のこと。植物和名には片かなを用い、なるべく400字詰の原稿用紙を用いること。欧文原稿は“一行あき”にタイプすること。
6. 和文の本論文には欧文の、欧文のそれには和文の簡単な摘要をつけること。
7. 原図には必ず倍率を表示し、図中の記号、数字には活字を貼込むこと。原図の説明文は2部を作製し、1部はたやすく剝がすことができるように貼っておくこと。図は刷上りで頁幅か又は図の側方に10字以上のあさが必要である。
8. アート紙使用のプレートについては実費を著者で負担のこと。
9. 登載する順序や体裁は編集部にお任せのこと。活字の指定は編集部ですが、特に希望される個所があれば鉛筆で記入のこと。
10. 投稿者は必要とする別刷数(50の倍数)を原稿に明記すること。本論文に限りそのうち50部は無料、それ以上は著者負担のこと。
 - a. 希望される別冊の部数は論文原稿に明記のもの以外は引き受けない。
 - b. 雑録の別刷は1頁以上のもので実費を著者が負担する場合に限って作成する。
 - c. 著者の負担する別刷の代金は印刷所から直接に請求するので印刷所へ御送金のこと。御送金の後に別刷を郵送する。
11. 送稿の際には住所と郵便番号とを明記すること。
12. 送稿や編集に関係した通信は〒105 東京都港区西新橋 1-20-14, 植物研究雑誌編集幹事、藤田路一あてのこと。

編 集 員

Members of Editorial Board

朝比奈泰彦 (Yasuhiko ASAHINA)

編集員代表 (Editor in chief)

千原光雄 (Mitsuo CHIHARA)	藤田路一 (Mitiiti FUJITA)
原寛 (Hiroshi HARA)	久内清孝 (Kiyotaka HISAUCHI)
井上浩 (Hiroshi INOUE)	伊藤洋 (Hiroshi ITO)
木村陽二郎 (Yojiro KIMURA)	木村雄四郎 (Yushiro KIMURA)
小林義雄 (Yosio KOBAYASI)	黒川遣 (Syo KUROKAWA)
前川文夫 (Fumio MAEKAWA)	大橋広好 (Hiroyoshi OHASHI)
佐々木一郎 (Ichiro SASAKI)	津山尚 (Takasi TUYAMA)
山崎敬 (Takasi YAMAZAKI)	

代 金 払 込

- 1) 本誌代価普通号1部 250円，増大号は別に定めます。
- 2) 1ヶ年分（雑誌普通号および増大号を含む12回分）2,700円（送料別，1部16円）。
- 3) 代金払込は，〒182 東京都狛江市和泉1421津村研究所（振替東京1680）あてにお送り下さい。

Overseas annual subscription rate: 3,000 yen including postage for Vol. 49 (1974) and after.

All communications to be addressed to the Editor

Dr. Yasuhiko Asahina, Prof. Emeritus, M. J. A.

Tsumura Laboratory, 1421, Izumi, Komae-shi, Tokyo, Japan

植物研究雑誌1巻～8巻迄覆刻完成のお知らせ

植物研究雑誌創刊号～8巻迄，津村順天堂で覆刻致しました。

価格 1セット（6分冊2箱入）7万円

申込みと代金払い込み先

津村研究所（振替）東京 1680

The Journal of Japanese Botany, vol. 1-8 are reproduced in facsimile.
Price 75,000 yen including postage.

昭和49年10月15日印刷

昭和49年10月20日発行

編集兼発行 佐々木一郎

印刷者 富田 潔

東京都練馬区豊玉北2ノ13

印刷所 学術図書印刷株式会社

東京都練馬区豊玉北2ノ13

電話 (991) 3754番

発行所 津村研究所

東京都狛江市和泉1421

（振替東京1680）

定 価	250 円
不 許	複 製